



- ・ いっまでも楽しく歩く
- ・ 市民公開講座
- ・ 平成28年度病院満足度調査
- ・ 「診療科名変更」のお知らせ

いっまでも

楽しく歩く

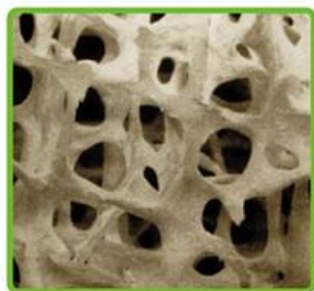
今回から 3 回にわたり整形外科領域の病気に関する連載を担当いたします整形外科医長の村瀬熱紀です。第1回は骨粗鬆症です。皆さんは骨粗鬆症と聞いてどのようなことを想像されるでしょうか。骨粗鬆症とは骨量や骨質が低下することで骨強度が低下し骨折しやすくなる病気です。

実はこの病気、男性より女性の方に注意が必要です。病気の出現には、女性ホルモン（エストロゲン）が強く関連しているからです。女性は、閉経後に女性ホルモンの分泌が減少し骨吸収（古い骨を壊す）と骨形成（新しい骨を作る）のバランスが崩れ、骨量が低下してしまうのです。症状が現れにくいいため骨折を起こして始めて気付くこともあります。特に、背骨の骨折や大腿骨の骨折は1度起こしてしまうと生活の質を低下させ、介護が必要になるケースもあります。現在、患者数は約 1300 万人、60 代の女性では5人に1人が骨粗鬆症といわれています。超高齢社会を迎える日本ではさらに患者が増加すると予想されているため、骨粗鬆症の早期発見と治療が必要と考えられています。



整形外科 医長
村瀬 熱紀

健康な骨



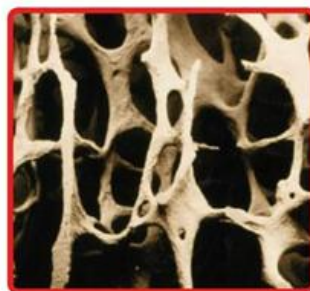
骨の構造が
しっかりしています。



【背骨の状態】

正常

骨粗鬆症の骨



骨の量が少なく
なっています。



【背骨の状態】

骨粗鬆症の検査にはいろいろな方法があります。

レントゲン検査

現在の骨折の有無を調べるもので、無症状でも腰の圧迫骨折が判明することがあります。

骨代謝マーカー

血液検査で骨代謝（骨吸収と骨形成）の状態を評価します。

骨量検査（DEXA 法）

腰・股関節・手・踵などの骨密度を測定します。



骨量検査装置

骨粗鬆症の予防に関しては、栄養バランスの良い食事を摂取すること、適度な運動を行うことが重要といわれています。特に 60 歳以上の女性の方で最近腰の痛みを感じるようになった方、身長が少し縮んだと感じられている方、他の病気でステロイド薬を飲まれている方は、骨粗鬆症の検査をお勧めいたします。どの検査も短時間で行うことができますので、お近くのかかりつけ医や当院へご相談ください。

市 民 公 開 講 座

市民病院では身近な病気的话题を取り上げ、地域の皆さんに病気に関する知識の向上を目指した市民公開講座を開催しています。

平成 **29** 年 **6** 月 **10** 日（土）に**正午**から**午後4時**まで**総合保健医療センター**において**50** 回目を迎える市民公開講座を開催いたします。

テーマは **緊急事態** -そのとき必要な医療は- です。

当院が県から指定を受けている**災害拠点病院**について院長をはじめ複数の医師による**講演**を行います。また、**健康チェック**、医師・看護師に**なりきり写真撮影**や**災害時の感染対策**に関するブース等があります。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

また、次のとおり平成 29 年度の開催を予定しておりますので、各回の詳細については広報春日井、市民病院ホームページまたは院内掲示等をご覧ください。

今年度の市民公開講座開催予定

開催予定日	テーマ	講師
平成29年9月9日（土）	周産期から幼児期の病気について（仮）	産婦人科医師・小児科医師・助産師
平成29年12月16日（土）	皮膚の病気について（仮）	皮膚科医師
平成30年2月17日（土）	すい臓がんについて（仮）	消化器内科医師

平成28年度病院満足度調査

より良い病院を目指すため、入院患者、外来患者の皆さんがどのように感じ、何を求められているかをお聞きする満足度調査を実施しました。調査にご協力いただきました皆さんには厚くお礼申し上げます。調査の詳細結果は病院ホームページで報告するとともに、この結果を参考とし、さらなる医療サービスの向上に努めていきます。

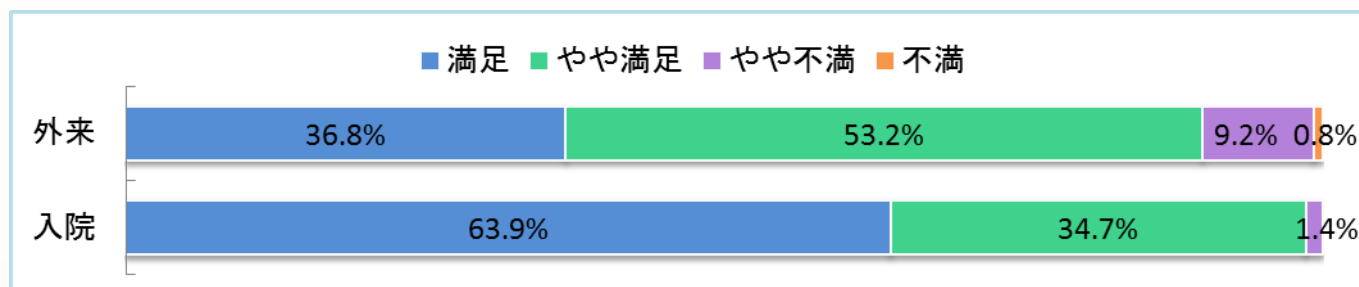
調査概要

- 調査対象 外来患者及び入院患者
- 回収枚数 外来 778 枚 入院 234 枚
- 調査項目 職員、施設・設備、待ち時間（外来）、情報提供等について
- 評価方法 満足、やや満足、やや不満、不満の4段階評価

総合評価

今回のアンケート調査では、総合評価において満足、やや満足と回答された方は、外来が90.0%、入院が98.6%になりました。また、どの項目も概ね高い評価をいただきました。

しかしながら、外来の待ち時間については、他の項目に比べて満足度が低くなっており、まだまだ課題があるものと思われます。多くの患者さんの診療を行うなかで、状況によりどうしてもお待ちいただくことがあります。改善を積み重ね少しでも短縮できるよう努めてまいりますので、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。



平成28年度主な取組事項

◆ 医療スタッフの充実

呼吸器科や皮膚科において常勤医師の増員や新規配置を行い、診療体制を強化することができました。また、医療技師や薬剤師等についても業務の拡大に伴う増員を行いました。

◆ よろず相談窓口の設置

様々な相談に対する窓口を一本化するため、よろず相談窓口を設置しました。相談の内容により適切な部署をご案内し、対応させていただきます。

◆ コーヒーショップの設置

中央ホールにコーヒーショップを開設し、平成27年度設置したコンビニエンスストアとともに外来・入院患者の方や、来院される方へのサービス向上を図りました。

「診療科名変更」のお知らせ

平成29年4月1日から、次のとおり一部の診療科名を変更しました。

これは、受診いただく診療科の機能を、より分かりやすくすることを目的としています。

変更にあたり、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

旧	新	旧	新
内科	内科	整形外科	整形外科
	腎臓内科	形成外科	形成外科
	糖尿病・内分泌内科 (糖尿病センター)	脳神経外科	脳神経外科
神経内科	神経内科	呼吸器外科	呼吸器外科
呼吸器科	呼吸器内科	皮膚科	皮膚科
消化器科	消化器内科	泌尿器科	泌尿器科
循環器科	循環器内科	産婦人科	産婦人科
メンタルヘルス科	メンタルヘルス科	眼科	眼科
小児科	小児科	耳鼻いんこう科	耳鼻咽喉科
外科	外科	リハビリテーション科	リハビリテーション科
	血管外科 (血管内治療センター)	放射線科	放射線診断科 放射線治療科
心臓血管外科	心臓外科	麻酔科	麻酔科
		歯科口腔外科	歯科口腔外科

ご注意ください

平成29年4月以降、**オレンジ色**の診療科を受診する方については、再来機での受付ができない場合があります。

その際は、お手数をおかけしますが、総合受付「初診・再来」窓口へお越しください。

なお、今回の変更は名称に係るもので、診療場所の変更はありません。

ご不明な点は、院内スタッフにお尋ねください。

問い合わせ先

医事課

病院新聞



発行 春日井市民病院 広報委員会

〒486-8510 春日井市鷹来町1丁目1番地1

■電話 0568-57-0057 (代表)

■ホームページ <http://www.hospital.kasugai.aichi.jp/>

■Facebook <https://www.facebook.com/hospital.kasugai.aichi.jp>



ホームページ
QRコード